

開館 40 周年記念特別展

# 星降る中部高地の縄文世界

—黒曜石ネットワークによる物流と人流—

会期 2023 7.8 [土] - 9.3 [日]

オモシロ遺物大集合!



開館 40 周年記念特別展

開催報告

令和 5 年 7 月 8 日 (土) ~ 9 月 3 日 (日) の期間に開館 40 周年記念特別展「星降る中部高地の縄文世界—黒曜石ネットワークによる物流と人流—」を開催しました。今年は例年秋に行う特別展を夏季にスライドしたことで会期が夏休み期間と重なり、県内外から多くの縄文ファンが訪れました。本展では、日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」を構成する山梨・長野の優品をはじめ、良質な信州産黒曜石を利用した交易を通して互いに影響を与えあった東京・北関東・東海地域の個性豊かな遺物が一堂に集い、縄文を目当てに来場した方の期待を裏切らない濃厚な縄文世界を展開しました。来場者の中にはあまりの密度の濃さに「縄文酔い」する方もいるほど見どころが多く、インパクトの強い遺物が所狭しと並びました。今回集った縄文土器の中には、個性豊かでありながらその文様や造形表現において似通った部分があるものも多く、離れた地域同士でも共有する世界観や物語性があったことがうかがえます。そうした縄文時代の人々の豊かな精神世界が、山梨・長野を中心とした中部高地に華やかな縄文文化を生み、数千年後のわたしたちに類まれな造形美を誇る縄文土器の数々を目にする機会を与えてくれたように思います。

開催初日の 7 月 8 日 (土) には、折よく  
**入館者 170 万人** を達成！記念すべき  
 170 万人目のお客様には記念品を贈呈し、  
 当館館長と記念撮影をしました。



7 月 7 日 (金) には関係者を招いての  
**オープニングセレモニー** を開催。地元の中道南・北両小学校の児童  
 会長たちとともにテープカットも行いま  
 した。



青空に映えるバナー



< 画像：左から時計回りに >

【国重要文化財】顔面付釣手形土器 御殿場遺跡 伊那市教育委員会蔵 / 小型深鉢形土器 日南田遺跡 八王子市教育委員会蔵  
 浅鉢形土器 御嶽堂遺跡 町田市教育委員会蔵 / 【長野県宝】顔面把手付深鉢形土器 榎外垣遺跡 市立岡谷美術考古館蔵



# W.S

ワークショップ

7.30 SUN

## シシモノガタリ



作り手によって  
イノシシの造形  
も変わります



本物の加工は鹿角!

## 黒曜石で石鏃を作ろう



加工した石鏃は  
ミニ弓矢につけて  
完成です!

▲協力：星くずの里たかやま  
黒曜石体験ミュージアム



## 紙漉き体験 (うちわ漉き)



スキな縄文土器の  
文様ハンコで模様を  
つけられました

▲協力：西嶋和紙工業協同組合

## 協力

- ▶ 縄文王国山梨実行委員会
- ▶ 山梨県埋蔵文化財センター

## 学芸員実習 7/27 ~ 8/6

例年夏休みシーズンに行う学芸員実習。今年は4名の大学生が参加しました。特別展会期中の実習ということで、関連イベントの日には実習生のみなさんにも事前準備や当日の補助など、幅広く活動していただきました。来年度も年明けから実習生の募集を開始しますので、興味のある方はホームページをご確認ください。



学芸員実習に参加した4名の学生さん

子どもに説明中!



イベントでは補助  
だけでなく実際に参加者  
として体験する場面も。



VR空間で  
土器を操る!

VRは事前に練習  
してから当日に臨  
みました!

7月30日(日)には特別展開関連イベントとしてワークショップを開催。観覧者を対象に、縄文にちなんださまざまなものづくり体験に参加していただきました。なかでも、長和町教育委員会の方を講師としてお招きした「黒曜石で石鏃を作ろう」は人気で、およそ一時間かけて黒曜石片を加工し、本格的な石鏃に仕上げました。また、縄文土器にはおなじみのモチーフである「イノシシ」を模した小さな土製品を作る「シシモノガタリ」や、西嶋和紙の方による紙漉き体験、クイズラリー、VR体験ミュージアムなど、楽しみながら縄文に親しんでいただきました。

# NEXT EXHIBITION

令和5年度

## 山の洲文化財交流展

中央日本4県 「発掘が語る地域交流」



観覧無料!

フォッサマグナがつなぐ新潟 長野 山梨 静岡

会期 2023 12.9 土 - 2024 1.21 日

本州の中央部にある新潟・長野・山梨・静岡の中央日本4県は、東日本と西日本、太平洋と日本海とをつなぐフォッサマグナ(糸魚川・静岡構造線)上に連なる地域で、いにしえから多くの人や物が交流する交通の要衝として発展してきました。現在、地域的・景観的な特徴から、これら4県を「山の洲(やまのくに)」と称して、新たな地域経済圏とする取り組みが進められています。「山の洲文化財交流展」は、そうした地域間交流活動の一環として、令和2年度に静岡県と山梨県の2県ではじまり、令和4年度に長野県、そして令和5年度には新潟県を加えた4県が連携し、それぞれの地域で育まれた文化財の魅力を広く発信するための場として活用されてきました。本年度も各県で発掘された個性豊かな文化資源を紹介するとともに、「山の洲」における地域間交流の歴史を辿ります。

### 「山の洲文化財交流展」巡回スケジュール

■ 長野県立歴史館 [長野県千曲市]  
令和5年7月1日(土) - 8月20日(日)

■ 山梨県立考古博物館 [山梨県甲府市]  
令和5年12月9日(土) - 令和6年1月21日(日)

■ 新潟県立歴史博物館 [新潟県長岡市]  
令和5年9月9日(土) - 10月15日(日)

■ 静岡県立美術館 [静岡県静岡市]  
令和6年2月15日(木) - 3月9日(土)

第21回

## わたしたちの研究室

研究成果展示会

観覧  
無料

会期 2024 2.10 土 - 3.3 日

小中学生のみなさんが夏休みの期間や総合的な学習の時間に取り組んだ歴史・考古学に関する研究成果を展示公開します。

作品募集期間

2023 9.1 金 - 11.5 日

※作品の形式は自由です。当館へ直接持ち込みまたは郵送にて提出してください。  
作品の内容・提出方法についてのご相談は ☎ 055-266-3881 [学芸課] まで。



くわしくはコチラ

次回展示 11月 - 3月